

- ・真締川公園の彫刻をなんとかしたい。緑が茂りすぎて街とつながりがない。
- ・配置した彫刻を回遊できるようにしたい。歩いて繋がるものにしたい。
- ・湾岸道路から見てもわかるような大きい彫刻があったらよい
- ・「宇部日報」とコラボして、もっと情報発信をしたら？
- ・彫刻と子育て、彫刻と教育、彫刻と保育、彫刻と工業都市など・・・
- ・地元とのマッチング
- ・場所と彫刻とのマッチングをもっと意識すべき
- ・子供が参加できるような関係をもっと増やすべき
- ・「蟻の城」ですら知らない人がいる。もっと「彫刻の街」としてどんどん彫刻の良さを大きく発信する場所をつくるべき。
- ・彫刻の良さには限りがある
- ・学校に良いものをおいてほしい。子供の教育に重要。
- ・宇部の歴史ともっとつながる場所におく。

- ・学校での教育がとても大事、まずは子供(宇部ビエンナーレの本展よりも彫刻教育でつながるのがずっと重要)
- ・MY彫刻 一人一人の市民が好きな彫刻を選んだら面白いのでは？車のナンバープレートのデザインを彫刻にする
- ・彫刻の清掃で毎年違う彫刻を清掃する(つながりをつくる)
- ・作家との交流の場をもっと増やす。今回の葛谷さんとの交流は非常に良かった。作家気分になれる。
- ・子供たちや市民が作品をつくって出展できたらよいのでは？
- ・「大賞」自体の選考に市民が参加できたらもっと市民とつながる
- ・通学路にもっと彫刻を置く(彫刻を置くと通学路になるくらい)

- ・マケット(模型)作品をいろんなお店に貸し出す。
- ・増えすぎた作品を供養して減らす
- ・市内の置き場所が限られている(西側があまり彫刻がなり)
- ・真締川の干潮時に見える彫刻とかユニークな置き場所においたらよいのでは？
- ・新天町に彫刻を並べて、「彫刻の動物園」をつくる
- ・作品清掃したら市民税の軽減をするなどのインセンティブをつくる

- ・身近なところにもっとあったらよい
- ・真締川など川沿いとか
- ・市街地に「ときわ公園」のようにまとめて置く所をつくったらよいのでは？
- ・宇部に彫刻の美術館をつくるべき
- ・新しい市庁舎の周りに置けたらいいのでは？

彫刻と宇部の街 どんな所がどんな風につながったらよいか？

- ・彫刻は空港にあるけれど記憶にのこっていない、彫刻はまちにあるけれど記憶にのこっていない
- ・今は彫刻が「点在」してしまっている。⇒もっと集めて水木しげるストリートみたいに彫刻だらけにしてみたら？大きいのが難しいなら手ごろな大きさのものを集めてみたり・・・
- ・宇部全体を彫刻をつかっけてきれいにしたい
- ・町ごとに彫刻の里親になってもらうなど、愛着をもってもらう仕組みをつくる
- ・作者のメッセージ、情報がすぐに得られるようにしてほしい
- ・彫刻模型(マケット)をもっと活用しては？

- ・各校区ごとに人が集まるところにおけたら
- ・街を歩く人が減っているので、大通り沿いに置いた方がよいのでは？
- ・学校におくと卒業したら見れないからもう少しいつでも見れるところにおいてもよいかも
- ・宇部は市内に散歩をしたり、歩いて楽しいと感じる所が少ない。もっといろんな回遊のコースをつくって、そこに置く
- ・真締川公園にオープンカフェをつくって、それと一体で設置
- ・彫刻は静か、寡黙なので、説明が重要
- ・海岸沿いなどインスタ映えするところに置く
- ・スーパーなど市民がいくところに大きな作品を設置
- ・宇部は彫刻に投資はしているが見返りがわからない「効果」の説明が重要

- ・街には表があれば裏がある
- ・公園や市民センター、学校などずっと人が居られるところに彫刻をおいていったらよいのではないかな？
- ・一方で、学校とか部外者が入れないところだと困る
- ・現状は彫刻が「点在」して設置されてしまっている→もっと一か所に集めては？
- ・「彫刻通り」のような1～2時間でみて歩けるような観光スポットに彫刻を集めて配置すればよいと思う
- ・各町に置いていくのも一方で良さもある
- ・川沿いや空港、場所に見合った作品を置いてほしい
- ・ただパラパラとあるのではなく、例えば「大賞」作品を並べて、宇部にしかできない迫力のある彫刻公園をつくるなどしてほしい。
- 宇部ビエンナーレの歴史アーカイブとしての彫刻公園